岩滑小学校だより
やかちの風
学び合う　岩滑大好き　元気な子

平成２６年
２月２７日
第２２０号

～「学校公開日」‥南吉童話による道徳授業、ブックトーク、祭りの話、命の授業、二分の一成人式、100％歯みがき集会～

２月４日(火)に、朝の会から帰りの会まで学校公開を行いました。

本年度は新美南吉生誕１００年でもあり、全学級、新美南吉童話を題材とした道徳の授業を行いました。また、半田市立図書館より「ブックトーク(図書紹介授業)」・半田病院より「命の授業」などの出前授業も行いました。

「ブックトーク」は半田市立図書館の図書館員の方に１年間にわたって全学級で図書の紹介の授業を行ってきました。今回は１年生で行いました。巧みな読み聞かせに１・２年生は釘付けとなっていました。

半田病院のお医者さんによる「命の授業」(５年生)では、実際に聴診器を使って友だち同士で心臓の鼓動を聴きました。自分や友だちの心臓の鼓動を直接聴く機会は初めてで、生命の神秘を感じました。その後、病気や事故で入院した患者さんの気持ちについて話を聞きました。今回の授業を通して、健康の大切さをあらためて考えることができました。

４年生は、「これからの人生をどう生きていくか」をテーマとして二分の一成人式を行いました。保護者の方に感謝の手紙を書き、代表者が読み上げました。また、ステージ上で一人一人自分の将来の職業を発表しました。その後、誓いの呼びかけをし「グリーングリーン」の演奏と「マイバラード」の合唱を行いました。

３年生は社会科の授業で、岩滑山車保存会の平松憲一さんと榊原泰介さんをお招きして「岩滑の山車祭り」についてお話をうかがいました。山車のゴマが松材でできていることや一個１５０kgもあり、４個で６００kgと聞き、おどろきました。お囃子には小学校４年生から高校生までの人と８０歳を越える方までたずさわっているなど、たくさんの人の力で祭りが行われていることを知ることができました。

５時間目には、４～６年生で「１００％歯みがき集会」を行いました。４月当初に有志のブラッシング委員を募集し、学校歯科医の村井先生の指導の下、１年間１００％歯みがきに挑戦をし、その成果を発表しました。

～ボランティアによる「ペア学年あいさつ運動」～

生活委員会が中心となって、毎週水曜日に正門と南門で「あいさつ運動」を行ってきました。また、毎学期、「あいさつ週間」を設けて、あいさつボランティアを募集して、「ペア学年あいさつ運動」を行ってきました。

３学期は２月５日から１３日までの６日間おこないました。

あいさつボランティアの人が正門で、「おはようございます」と大きな声であいさつをすると登校してきた人たちも「おはようございます」と元気よく答えています。

一学期にもお知らせしましたが、あいさつのポイントは、「明るく」「大きな声で」「相手より先に」の三箇条です。ご家庭でも、朝、大きな声で「おはよう」のあいさつができると、すてきな１日が始まります。お試しください。

～３学期通学団会で新年度通学班決定～

２月２４日(月)の第５時限に新年度の通学班の決定をしました。新１年生を含めて原則１グループ１２人以下となるように、新通学班を編制しました。新年度の班長はその班に入る新１年生の家にあいさつに出向き、集合場所や集合時間を伝えます。

平成２５年度中は新通学班の習熟のため、平成２６年度は新１年生のスムーズな通学のため、２月２５日(火)から５月８日(木)の間は集団登校を行います。集合時間に遅れないように集合するようにしてください。また、欠席する場合は必ず班長又は班の人に連絡をし、通学班の出発が遅れないようにお互いに協力し合いましょう。

～朝のふれあいスピーチ～

４月当初より、言語活動の充実の一環として、朝の会で「ふれあいスピーチ」タイムを設けて一人ひとりの発表の場としています。

２月１８日(火)から２８日(金)に、上級学年や他学級のふれあいスピーチを見学し、自分たちのスピーチの仕方を見直す機会としました。新聞やテレビから題材を集めたり、時間を決めてスピーチを行ったり、クイズ形式で行ったりと、学級によって取組方法は様々です。上級学年のスピーチを聴くことによって下級生は話し方等について新たに学ぶことができました。

「自転車事故で４７００万円」（時事ニュースより）

１月、東京都大田区で７５歳の女性を自転車ではねた男性に、東京地裁が約４７００万円の損害賠償の支払いを命じました。１２月の「やかちの風」でもお知らせしましたが、改正道路交通法の施行により、自転車は道路の左側を通行しなければならないとなっています。１３歳未満の子どもは、歩道の自転車通行が認められていますが、歩道の走行にも危険が伴います。より一層注意して走行をするようにしてください。